

【シリーズSDGs ⑧】
身近なところからSDGsの取組をしましょう。

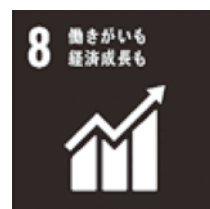
ゴール8「働きがいも 経済成長も」

SDGsゴール8は「働きがいも 経済成長も」を目標としています。

世界では、仕事に就いていても、十分な収入を得ることができずに貧困層から抜け出せない人が約7億人いると言われています。また、働きたいのに仕事がない失業者は約2億人います。働きがいがあり、十分な収入が得られる仕事（ディセン・ト・ワーク）をいかに実現するかが課題となります。その他にも、長時間労働や児童労働など労働に関する様々な課題があります。

また、これからの時代は、大量生産・大量消費ではなく、経済の発展と環境を守ることの両立が求められています。

日本では、「働き方改革」や「ワーク・ライフ・バランス」といったキーワードがよく出てきます。仕事とプライベートの両方が充実したバランスの取れた働き方の実現が課題となっています。



○行政の役割としては

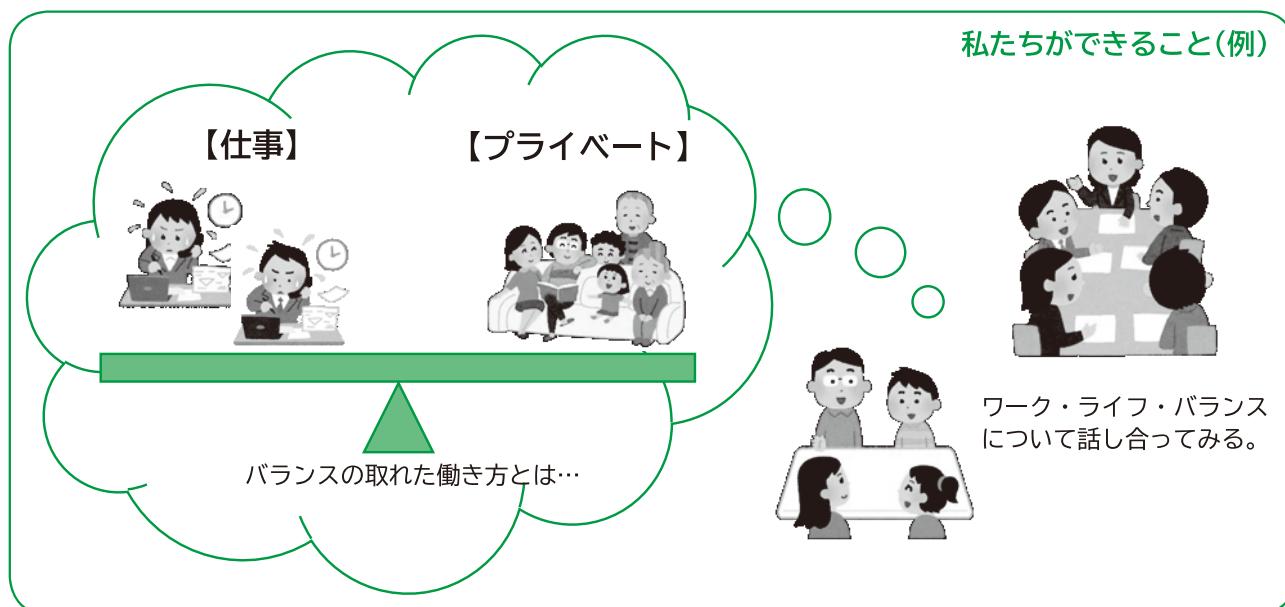
経済成長戦略の策定を通して地域の経済の活性化や雇用の創出に直接的に関与することができます。また、労働環境の改善や社会サービス制度の整備を通して労働者の待遇を改善することも可能です。

○私たちができること（例）

・ワーク・ライフ・バランスについて職場や家庭で話し合ってみる。

2030年までの国際的な目標の実現に向け意識をして実践しましょう。

私たちができること(例)



目標達成のためのターゲット

○2030年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導のもと、持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。

○移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

SDGs 8「働きがいも 経済成長も」では、上記のようなターゲットを12個掲げ、目標達成に向けて取り組みを進めて行きます。

※公益財団法人 日本ユニセフ協会HP引用

問 みらい創生課 企画・SDGs推進班 ☎(72)1151